

憩いのパークの魅力

夏の思い出



◀ネーブルパークとは雰囲気が違う
古河公方公園ポニー乗馬教室
メンバーも新鮮な気持ちでお散歩

ネーブルパークポニー牧場では毎年夏になると、障がい児・者の乗馬教室「ネーブルの会」の活動を、古河公方公園(古河総合公園)で実施しています。

古河公方公園は、ネーブルパークと並んで、市民に親しまれている公園です。約1,500本の花桃は、全国的にも有名で、毎年3月は多くの人でにぎわっています。そして、7月は美しい大賀ハスが咲き、秋は色とりどりの紅葉が目を楽しませてくれる、自然豊かな公園です。

この素敵な公園で、ネーブルパークから3頭のポニーがお出かけをして、乗馬教室が開かれる予定です。

約25ヘクタールもある広々とした公園の中での乗馬は、富士見塚を出発し、桃林の中を通過、目洗弁天池手前までのコースをのんびりポニーに跨って一緒にお散歩。

青空の下、緑豊かな景色に映し出される乗馬風景は、思わず写真を撮りたくなるような一コマです。

乗馬後は、中山のせせらぎで水遊び。最後にみんなでかき氷を食べて夏の思い出の完成です。

当日の乗馬は教室に入会しているメンバー限定となりますが、ポニーの待機中はどなたでもニンジンのエサあげ体験(1カップ100円)ができます。実施は8月7日(日)・20日(土)の2日間[雨天時は中止]。エサあげ体験の時間は、午前7時30分から1時間程度と、午前10時ごろから1時間程度。孔雀小屋近くの仮設馬房で30人限定で実施します。

素敵な古河公方公園で体験できるポニーとのふれあいイベントに、皆さんもいらっしゃいませんか?

【問】ネーブルパークポニー牧場管理事務所 ☎91-1351



表紙写真



夏休みの宿題といえば「理科の自由研究」。アサガオの観察をした人も多いのではないのでしょうか。

今月の表紙写真は、夏休み目前の古河第五小学校で撮影した1年生のアサガオ観察です。種まきから発芽、双葉・本葉の成長、つるの巻き方、つぼみを付けて花が咲く成長過程を、タブレット端末で丁寧に撮影しています。

子どもたちは、アサガオのお世話を通して、その変化や成長の様子に強く関心を持っていました。自分たちで育てたアサガオが、次々と咲くのが楽しみですね。

古河市データ

人口

(7月1日現在) 住民基本台帳から

総人口	144,214人 (-4)
男	72,500人 (-24)
女	71,714人 (+20)
世帯数	59,223世帯 (+58)

() 内は前月比